梨の時期、到来

梨が美味しい季節となりました

筑西市は、国内有数の作付け面積を誇る梨の産地の一つです。市の梨はみずみずしい果肉と爽やかな甘みが特徴で、市内外多くの人に愛されています。品種の違いを楽しみながら、ぜひたくさんの梨を味わってみてください。

【問】農政課（本庁3階）☎20-1161

品種いろいろ選べる美味しさ

市では、主に6種類の梨が栽培されています。

幸水　8月上旬～中旬
甘みが強く、酸味控えめで口当たりが良い。爽やかな香りで夏にピッタリ。

豊水　8月下旬～9月下旬
甘みと酸味のバランスが良く、みずみずしい食感が特長。

恵水　8月下旬～9月下旬
県オリジナル品種。深い甘みが感じられ、シャリシャリ感を楽しめる。

あきづき　9月中旬～10月上旬
果肉はきめが細かく、糖度が高い。果汁が豊富でジューシーな食感。

新高　9月下旬～10月中旬
甘く風味豊かで多汁。香り豊かで酸味が少なく、歯ごたえが良い。

にっこり　10月上旬～下旬
大玉で甘みが強い。みずみずしく日持ちするのが特長。

梨が買える直売所

道の駅グランテラス筑西
川澄1850 ☎45-5055

ファーマーズマーケットきらいち筑西店
西方838-1 ☎54-4831

KEK協和直売店
門井1705 ☎57-2120

北海道でも筑西の梨は大人気！

8月5日に須藤市長が北海道豊頃町（按田武（あんだたけし）町長）で梨のトップセールスを行いました。販売開始40分で92箱が完売し、購入した人は「筑西の梨は甘くて美味しいので、食べるのが楽しみです」と笑顔で話しました。

梨の里　関城
祖父の梨畑を受け継いだ孫夫婦の挑戦

館野（たての）　敏子（としこ）さん（関本上）

関本で梨の栽培が始まったのは江戸時代末期。「無し」に通じるため「有りの実」の名称で親しまれてきました。

関城地区では、梨の開花期に雪のように真っ白な花が一面に咲き誇り、筑波山と合わせるととても素晴らしい風景が見られます。しかし、時の流れにより梨農家の高齢化・後継者不足が深刻化し、梨畑の面積も減少しているのが現状です。その一方で、梨を守ろうと新規就農者が増えていることを知り、関本上で祖父・富男（とみお）さんから受け継いだ梨園を営む、すとう梨園の須藤龍太郎（すとうりゅうたろう）さん（30）・智代（ともよ）さん（30）夫妻にお話を伺いました。

きっかけは祖父のつぶやき

二人は関城地区出身で、24歳の時に結婚。それぞれ会社員として働いていましたが、富男さんがこぼした「高齢になって、これから梨をどうするかな」というつぶやきを聞き、就農を決断したそうです。意外にも先に言い出したのは智代さんで「当たり前に食べていた梨が食べられなくなると気付き、当時の仕事に不安を感じていたこともあり、じゃあ自分達でやってみようと思いました」と智代さんは話します。智代さんが先に富男さんに就いて始め、龍太郎さんは仕事の傍ら梨の勉強を行い、2年後に就農。「いつかは梨園を継ごうと考えていましたが、妻のほうからやろうと言ってくれて決意が固まりました」と龍太郎さん。富男さんから栽培や管理方法を学び、現在4年目になるそうです。

半年前に富男さんが他界したのをきっかけに、会社員だった父親も仕事を辞め、今は3人で農業をしているそうです。龍太郎さんの弟さんも会社員から梨農家に転職し、別の農家のもとで働いています。「梨を守るという共通の目的ができたことで、家族での会話が増え、須藤家にいい風が吹いています」と龍太郎さんは穏やかに話してくれました。

会社員の経験と若さを武器に

梨農家を始めた感想を聞いてみると「時間の使い方も自分達で決められ、やればやっただけ自分に返ってくるので、やりがいを感じます。地元の農家さんに教えていただくことも多く、情報交換をするなど、地域に支えられています」と龍太郎さん。二人は会社勤めの経験を活かし、作業内容のスケジュール化や機械の導入による効率アップ、ネット販売の活用を行い経営を工夫しています。また、若い人が興味を持つように、梨の箱を鮮やかでおしゃれなデザインに変えたそうです。「農家の印象を変えていきたいので、いい意味で農家らしくないと思われたい」と智代さんは話します。

今後の目標について「関城の名を梨の産地として残すために、SNSで農作業の風景などを発信しています。農業の魅力を伝え、梨の購入者を梨の作り手へと変えていきたいです」と二人は声を揃えます。将来は新規就農者の受け入れや、支援ができるネットワークを関城地区で作りたいと話す二人の目には、梨の産地を次世代へ繋（つな）げていきたいという思いがこもっていました。

取材を終えて

とても明るく梨作りを楽しむ夫婦の様子を見て、梨の師匠であった富男さんも、若い二人の成長を喜び見守っていると思いました。素晴らしい伝統を絶やすことなく梨農家が増えていくことを期待し、二人の活躍を見守っていきたいと思います。